

ゆうきの里を育てよう農産物参加型認証

サポーター 大募集



松川町ゆうきの里を育てよう
参加型農産物認証制度



りんご 環境に配慮した栽培に取り組む畠を、一緒に見守りませんか？

松川町では、「環境に配慮した農産物の認証制度」を進めています。畠での生産者の取り組みを応援しながら、育土（いくど）や生物の多様性などに対し、理解を深めていくサポートを募集します。

こちらの QR コードを読み込んでいただくと

会員登録となり、情報が届くようになります。



りんご サポーターの活動内容

農産物の認証審査（現地審査）に参加することができます。

⇒ 参加型認証制度（PGS）に基づく、見守り・交流活動です。

圃場の見学会、試食会等に参加できます。

⇒ 生産者から直接話を聞きし、作物の育ちを一緒に確認できます。

認証の取り組みについてご意見ください。取り組みを企画することもできます。

松川町の農産物をぜひ PR してください。

りんご こんな方におすすめ！

- ・環境に配慮した農業に関心がある方
- ・地元の農家さんを応援したい方
- ・食や環境について学びたい方
- ・畠のある暮らしに少し触れてみたい方

りんご 畠の見学会開催スケジュール

午前 11:00～12:00 を予定しています。

10月 25日 (土) 大豆 (生田福与地区)

11月 1日 (土) 長ネギ (大島増野地区)

12月 6日 (土) ニンジン (上片桐) 年内の計画です。

集合場所：松川町交流センター みらい

持ち物：帽子・飲み物・動きやすい服装 ※雨天中止の場合は前日までにご連絡します。

りんご 参加申込み・お問い合わせ

松川町ゆうきの里を育てよう連絡協議会（事務局：松川町役場産業観光課農業振興係）

電話 0265-34-7066 Fax 0265-48-5233 mail sangyou@town-matsukawa.lg.jp



農産物参加型認証制度とは？

「有機 JAS 認証」とは異なり、地域の生産者と消費者が協力し、お互いに信頼しながら「環境保全型農業で栽培された農産物の約束」を確認する 参加型認証制度（PGS）です。

長野県では、信州の地域に広がる有機農業スタートブック～生産者と消費者の信頼関係を深めよう～と有機農業の推進及び発展に向け、参加型認証の取組に対して、取り組みを行っています。

松川町では、この仕組みを通して、農産物の売買とするだけでなく、消費者の皆さんに生産者の思いを伝えるとともに、消費者の皆さんからの感想などもお聞きできる機会にし、地域での有効なつながり（有機的な人間関係）を築き、圃場の見学や、収穫体験などを通じて、食育にもつながる、取り組みを広げていきたいと考えています。



お気軽にご参加ください！

認証評価の内容・・・農産物そのものの評価でなく、栽培された環境を評価する

認証制度に取り組んでいます。

農地 土壌消毒や除草剤を使用しない土では、有益な微生物が活発に活動し、土の団粒構造がされやすく、水はけや保水性の良い土になると考えられます。



-  1つ 1年以上不使用
 -  2つ 2年以上不使用
 -  3つ 3年以上不使用
 -  4つ 4年以上不使用
 -  5つ 不使用を継続

このたびのよう
こそだててます。
いつかきみたちに
たべてもらえた時
たべものたちは
きみたちの
からだになるから
作物はきみたちの
未来そのものだから



育十

炭を投入することで、CO₂削減、微生物の活性化、有害物質の吸着等様々な効果がある。たい肥や有機資材、縁肥を活用しでは化学肥料と違い、即効性がないので、バランスの取れた土にするには時間が必要です。



- 1つ 炭の投入
 - 2つ たい肥の投入
 - 3つ 植物性有機資材の投入
 - 4つ 緑肥の活用
 - 5つ 防草剤・土壌消毒・化学農薬
施肥を絶続

化学農薬 農薬を減らす、または使わないことで、ミツバチや天敵昆虫（カマキリやテントウムシ）が増え、害虫の発生を抑える自然の仕組みが機能しやすくなります。



- 1つ 30%削減
 - 2つ 50%削減
 - 3つ 70%削減
 - 4つ 化学農薬不使用
 - 5つ 不使用を継続

化学肥料 化学肥料を減らす、または使わないことで、土が固くなる現象を防ぎ、窒素過多になりにくいことで、植物の自然な成長により害虫被害が抑えられることもあります。



- 1つ 30%削減
 - 2つ 50%削減
 - 3つ 70%削減
 - 4つ 化学肥料不使用
 - 5つ 不使用を継続